

令和2年度

幌延町教育委員会点検・評価報告書

令和3年8月

幌延町教育委員会

一 目 次

はじめに	1
1 点検評価の趣旨	1
2 点検・評価の対象	1
3 点検・評価の方法	2
4 学識経験者の知見の活用	2
第1 教育委員会の活動状況	3
1 教育委員会委員名簿	3
2 教育委員会議等の開催状況	3
3 教育委員会議案、報告・審議内容	3
4 教育委員会教育委員の主な活動状況	5
5 教育委員会関係委員会の活動状況	5
6 教育委員会が交付した補助金一覧	7
第2 令和2年度幌延町教育委員会点検・評価書	
◇幌延町学校概要	9
◇学校教育の充実	10
◇幌延町社会教育施設の利用状況	15
◇社会教育	16
～共に学び・共に育み・共に創る郷土に根ざすひとづくり～	
第3 点検評価に関する外部評価	19

はじめに

1 点検評価の趣旨

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会は毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、令和2年度の教育委員会の点検及び評価をまとめて報告するものです。

- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）
第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、令和2年度における教育委員会の主要な施策・事業のうち、幌延町教育行政執行方針の施策に基づく事務事業とし、次の14項目45の事業内容について評価を行っております。

□ 学校教育

- 1 確かな学力の向上
- 2 豊かな心の育成
- 3 健やかな体の育成
- 4 特色ある教育の推進
- 5 地域と支え合う学校づくり
- 6 教職員の資質、指導力の向上
- 7 心の教育相談体制の推進
- 8 特別支援教育体制の充実
- 9 安全安心な教育環境の推進と就学支援

□ 社会教育 ～共に学び・共に育み・共に創る 郷土に根ざすひとづくり～

- 1 幌延を知るための学びの場づくり
- 2 地域の営みに参画できる仕組みづくり
- 3 子どもたちの自立を促す環境づくり
- 4 次代に向けて挑戦し続ける風土づくり
- 5 学習活動の拠点づくり

3 点検・評価の方法

この点検・評価にあたっては、令和2年度の施策、個別事業ごとに事業内容とともに、事業成果や課題を分析し、今後の方向性を示しております。

4 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った活動状況や施策の実施状況について、点検・評価の客観性を確保するとともに、今後の取組みに向けた活用を図るため、教育に関し学識経験を有する方から点検・評価に関する意見・助言をいただきました。

外部評価委員

氏 名	役 職 名
高 木 健太郎	北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター 森林圏ステーション北管理部天塩研究林長
富士元 寿彦	前 幌延町教育委員会 委員

第 1 教育委員会の活動状況

1 教育委員会委員名簿

職 名	氏 名	就任年月日	任 期
教 育 長	木 澤 瑞 浩	H27. 3. 31	R1. 10. 1～R4. 9. 30
委 員 (教育長職務代理者)	澤 谷 敦 美	H22. 1. 1	H29. 10. 1～R3. 9. 30
委 員	堀 英 夫	H24. 10. 1	R2. 10. 1～R6. 9. 30
委 員	前 田 雅 信	R1. 10. 1	R1. 10. 1～R5. 9. 30
委 員	佐 藤 友 子	R1. 11. 1	R1. 11. 1～R4. 9. 30

2 教育委員会議等の開催状況等

項 目	教 育 委 員 会 議	町 議 会	学校行事・学校訪問等
回数・件数	11 回	8 回 ・ 10 日	16 件

3 教育委員会議議案、報告・審議内容

開 催 日	件 名
第 3 回 4月28日	(報告) <input type="checkbox"/> 幌延町立学校編成及び教職員の配置状況について <input type="checkbox"/> 幌延町スポーツ推進委員の委嘱について <input type="checkbox"/> 幌延町放課後子ども教室運営委員会委員の委嘱について <input type="checkbox"/> 幌延情報教育センター運営会委員の委嘱について
	(審議) <input type="checkbox"/> 幌延町社会教育委員兼幌延町生涯学習センター運営審議会委員の委嘱について <input type="checkbox"/> 幌延町立学校職員服務規程の一部を改正する訓令の制定について <input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症対策のための一斉臨時休業期間等における幌延町立学校職員の在宅勤務実施要領の制定について <input type="checkbox"/> 令和2年度幌延町奨学生候補者について <input type="checkbox"/> 幌延町第7次社会教育中期計画について
第 4 回 6月4日	(報告) <input type="checkbox"/> 幌延町放課後子ども教室運営委員会委員の委嘱について
	(審議) <input type="checkbox"/> 幌延町学校給食アレルギー対応連絡協議会委員の委嘱について <input type="checkbox"/> 令和2年度教育費補正予算の要求について <input type="checkbox"/> 教育行政の概要報告について
第 5 回 6月30日	(報告) <input type="checkbox"/> 第6次社会教育中期計画に係る令和元年度指標評価について
	(審議) <input type="checkbox"/> 幌延町文化財専門委員の委嘱について <input type="checkbox"/> 幌延町学校運営協議会委員の委嘱について <input type="checkbox"/> 令和2年度幌延町社会教育推進計画について <input type="checkbox"/> 幌延町立学校における働き方改革アクション・プランの一部改訂について <input type="checkbox"/> 幌延町立小学校社会科副読本改訂委員会設置要綱の制定について <input type="checkbox"/> 幌延町立小学校社会科副読本改訂委員会委員の委嘱について

開催日	件名
第6回 7月29日	(報告) □令和2年度特別支援教育就学奨励費支給区分の決定報告について □幌延町立小学校社会科副読本改訂委員会委員の委嘱について
	(審議) □幌延町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
第7回 8月28日	(審議) □平成31年度教育事務の管理及び執行の状況に係る点検・評価について □令和3年度使用教科用図書採択について □令和2年度教育費補正予算の要求について □教育行政の概要報告について
第8回 10月1日	(報告) □教育委員の任命について
	(審議) □令和2年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について □幌延町学校運営協議会を設置する学校の指定について □幌延町学校運営協議会委員の委嘱について
第9回 11月25日	(審議) □令和2年度教育費補正予算の要求について □教育行政の概要報告について
第10回 12月23日	(審議) □令和2年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について □幌延町立学校における教職員のハラスメント防止等に関する指針について
第1回 1月28日	(報告) □教育委員会事務局職員の発令について
	(審議) □幌延町東ヶ丘スキー場安全管理規程の一部を改正する訓令の制定について □幌延町立学校職員服務規程の一部を改正する訓令の制定について
第2回 2月25日	(審議) □令和2年度教育費補正予算の要求について □令和2年度教育行政の概要報告について □令和3年度教育行政執行方針について □令和3年度教育費当初予算の要求について
第3回 3月25日	(審議) □幌延町立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について □幌延町立学校職員の業務量の適切な管理等に関する規則の一部を改正する規則の制定について □幌延町学校給食共同調理場設置条例施行規則の一部を改正する規則の制定について □修学旅行の引率業務等に従事する幌延町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部を改正する訓令の制定について □長期休業期間等において新たな週休日を連続して設けるための幌延町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の制定について □幌延町立学校教職員の人事異動について □教育委員会事務局職員の発令について □学校歯科医の委嘱について □学校薬剤師の委嘱について □幌延町教育委員会に関わる各種委員等の委嘱について □令和3年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について □令和3年度幌延町奨学生候補者について

4 教育委員会教育委員の主な活動状況

- (1) 令和2年度幌延町公立学校新任教職員着任式(町役場)R2. 4. 3
- (2) 新型コロナウイルスの対応に関する北海道教育庁緊急会議(稚内市)R2. 4. 17
- (3) 新型コロナウイルス感染症への対応に係る北海道教育庁web会議R2. 5. 26
- (4) 令和2年度第2回宗谷管内市町村教育委員会教育長会議 他(稚内市)R2. 6. 12
- (5) 第1回宗谷管内学力向上推進会議(稚内市)R2. 6. 16
- (6) 公立高等学校配置計画地域別検討協議会〔留萌管内〕(苫前町)R2. 7. 14
- (7) 公立高等学校配置計画地域別検討協議会〔宗谷学区〕(稚内市)R2. 7. 22
- (8) 宗谷管内市町村教育委員会教育長会議(web会議)R2. 7. 27
- (9) 第1回宗谷管内公立小中学校教職員人事推進会議(web会議)R2. 7. 30
- (10) 第3回第8区教科用図書採択委員会協議会(稚内市)R2. 8. 4
- (11) 第3回宗谷管内市町村教育委員会教育長会議 他(稚内市)R2. 10. 8
- (12) 令和3年度当初教職員人事事前会議(稚内市)R2. 10. 15
- (13) 令和3年度当初教職員人事教育長意見聴取(稚内市)R2. 11. 12
- (14) 令和3年度当初教職員人事協議・面接(稚内市)R2. 11. 16
- (15) 宗谷管内学校における働き方改革推進会議(稚内市)R2. 11. 19
- (16) 豊富町・幌延町合同学校経営研究協議会(役場大会議室)R2. 11. 20
- (17) 令和3年度宗谷管内市町村立小中学校長公募面接(web会議)R3. 1. 18
- (18) 第4回宗谷管内市町村教育委員会教育長会議 他(web会議)R3. 1. 20
- (19) 令和3年度当初教職員人事教育長協議(web会議)R3. 2. 9
- (20) 宗谷管内学力向上推進会議(稚内市)R3. 2. 18
- (21) 令和2年度宗谷管内及び北海道教育実践表彰授与式(幌延小学校)R3. 3. 22
- (22) その他関連事業

区 分	入 学 式	運動会/体育大会	学芸会/学校祭	卒 業 式
幌 延 小 学 校	4月6日	9月5日	10月11日	3月19日
幌 延 中 学 校	4月6日	8月22日	10月25日	3月13日
問寒別小中学校	4月6日	8月30日	10月4日	3月15日

5 教育委員会関連委員会の活動状況

(1) 社会教育委員

① 第1回社会教育委員会議

期日 令和2年6月～書面会議(新型コロナウイルス感染症対策のため)
内容 令和元年度社会教育事業報告及び令和2年度社会教育推進計画
について 他

② 第2回社会教育委員会議

期日 令和3年3月23日
内容 令和4年度成人式対象者アンケート結果について 他

(2) 文化財専門委員

① 第1回文化財専門委員会議

期日 令和2年7月2日
内容 令和2年度事業計画(案)について 他

② 第2回文化財専門委員会議

期日 令和3年3月4日
内容 令和3年度事業計画(案)について 他

(3) スポーツ推進委員

① 第1回スポーツ推進委員会議

期日 令和2年5月～書面会議(新型コロナウイルス感染症対策のため)

内容 令和元年度社会体育事業報告について 他

② 第2回スポーツ推進委員会議

期日 令和2年12月～書面会議(新型コロナウイルス感染症対策のため)

内容 社会体育事業中間報告について 他

(4) 幌延情報教育センター運営委員

① 第1回幌延情報教育センター運営委員会〔所員会議と合同開催〕

期日 令和3年2月24日

内容 令和2年度事業報告及び3年度事業計画(案)について 他

(5) 教育支援委員

① 第1回教育支援委員会議

期日 令和2年12月22日

内容 令和3年度適正就学判断について 他

② 第2回教育支援委員会議

期日 令和3年2月～書面会議(新型コロナウイルス感染症対策のため)

内容 令和3年度適正就学判断について(追加案件)

(6) 学校運営協議会委員(幌延地区)

① 第1回幌延小中学校運営協議会

期日 令和2年11月5日

内容 令和2年度学校経営の概要報告及び承認について 他

② 第2回幌延小中学校運営協議会

期日 令和3年3月3日

内容 令和2年度学校評価結果報告について 他

(7) 学校運営協議会委員(問寒別地区)

① 第1回問寒別小中学校運営協議会

期日 令和2年7月21日

内容 令和2年度学校経営の概要報告及び承認について 他

② 第2回問寒別小中学校運営協議会

期日 令和2年12月15日

内容 令和2年度学校評価結果報告について 他

③ 第3回問寒別小中学校運営協議会

期日 令和3年3月5日

内容 新年度の学校経営の方向性や課題・検討事項について 他

(8) 学校給食センター運営委員

① 第1回学校給食センター運営委員会議

期日 令和3年3月24日

内容 令和2年度学校給食会会計収支決算見込みについて 他

(9) 学校給食アレルギー対応連絡協議会委員

① 第1回学校給食アレルギー対応連絡協議会

期日 令和2年7月3日

内容 平成31年度アレルギー対応報告及び令和2年度アレルギー対応児童生徒の状況について 他

(10) 放課後子ども教室運営委員

① 第1回幌延町放課後子ども教室運営委員会

期日 令和2年8月～書面会議(新型コロナウイルス感染症対策のため)

内容 令和元年度事業実績報告及び令和2年度事業計画について 他

② 第2回幌延町放課後子ども教室運営委員会

期日 令和3年3月23日

内容 令和2年度事業実績報告及び3年度事業計画(案)について 他

(11) 特別支援教育連携協議会委員

① 特別支援教育連携協議会

期日 令和3年3月～書面会議(新型コロナウイルス感染症対策のため)

内容 令和2年度事業報告 他

(12) 教育委員会外部評価委員

① 第1回教育事務執行外部評価会議

期日 令和2年8月5日

内容 平成31(令和元)年度教育委員会点検・評価報告書について 他

② 第2回教育事務執行外部評価会議

期日 令和2年8月21日

内容 外部評価について(点検及び評価に関する意見) 他

6 教育委員会が交付した補助金一覧

(1) 総務学校グループ

補助事業名	補助事業者	補助金額
中体連各種大会参加費補助	幌延中学校父母と先生の会	98,381円
中体連各種大会参加費補助	問寒別小中学校PTA会	0円
幌延町教育研究所運営費補助	幌延町教育研究所	524,687円
幌延小学校校内研修費補助	幌延町立幌延小学校	48,078円
幌延中学校校内研修費補助	幌延町立幌延中学校	48,445円
問寒別小中学校校内研修費補助	幌延町立問寒別小中学校	86,191円
高度へき地学校生徒修学旅行事業費補助	幌延町立問寒別小中学校	19,748円
児童生徒学力向上支援事業補助(英検)	幌延町立幌延小学校	2,000円
児童生徒学力向上支援事業補助(漢検)	幌延町立幌延小学校	40,000円
児童生徒学力向上支援事業補助(英検)	幌延町立幌延中学校	58,000円
児童生徒学力向上支援事業補助(漢検)	幌延町立幌延中学校	18,000円
児童生徒学力向上支援事業補助(英検)	幌延町立問寒別小中学校	3,900円
児童生徒学力向上支援事業補助(漢検)	幌延町立問寒別小中学校	6,000円
幌延町学校給食会運営費補助	幌延町学校給食会	1,969,503円

(2) 社会教育グループ

補 助 事 業 名	補 助 事 業 者	補 助 金 額
幌延町PTA連合協議会事業	幌延町PTA連合協議会	20,000円
幌延町文化協会運営事業	幌延町文化協会	240,000円
幌延町子ども会育成連絡協議会事業	幌延町子ども会育成連絡協議会	26,000円
ワラベンチャー問寒クラブ事業	ワラベンチャー問寒クラブ	92,000円
幌延町体育協会活動補助事業	幌延町体育協会	225,000円
幌延スポーツ少年団本部活動補助事業	幌延町スポーツ少年団本部	160,000円
幌延町スポーツ大会参加補助事業(野球) ＜全国大会道選抜・1名＞	幌延野球スポーツ少年団 父母の会	25,000円
幌延町スポーツ少年団(野球)全道大会 出場補助事業＜宗谷選抜・5名＞	幌延野球スポーツ少年団 父母の会	17,500円

第2 令和2年度幌延町教育委員会点検・評価書

1 幌延町学校概要

区分	特色ある教育活動・経営の重点	□学校教育 子どもたちが心身ともに健康な人格者として成長して行けるよう「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」など、知・徳・体が調和する「生きる力」を育む場として教育活動を進める。																																																																																																																																																																															
学校教育の充実	<p>□ 幌延小学校 ○学校の教育目標「かしこく やさしく たくましく」 ○年度の重点『主体的に関わることを通して自ら考え判断し行動できる子』</p> <p>□ 幌延中学校 ○学校の教育目標「郷土を愛し たくましく 心豊かな生徒」 1. 健康な生徒 2. よく学ぶ生徒 3. 思いやりのある生徒 ○年度の重点『主体性の育成』 何をすることが決まっていない状況でも、仲間との関りを大切にし、自分の意志と判断により、責任を持って行動する生徒。</p> <p>□ 問寒別小中学校 ○学校の教育目標 ◇強い身体 ◇高い知性 ◇豊かな心 ○年度の重点 ～社会を生き抜くために必要な自分で決める力を持てる児童生徒の育成～ ☆一人一人に目を向けた確かな学力と体力の向上 ☆地域の財産を有効に活用し、地域と一体となったふるさと教育</p>	<p style="text-align: center;">幌 延 町 学 校 概 要 （令和2年5月1日現在）</p> <p>◎ 幌延町の小中学校の児童・生徒数、教員の配置状況は以下のとおりです。人口の減少や少子化の中ではあるが、児童・生徒数は当面、現状維持もしくは微減で推移することが見込まれる。</p> <table border="1" data-bbox="952 427 2136 1121"> <thead> <tr> <th rowspan="3">学 校 名</th> <th colspan="3">学 級 数</th> <th colspan="6">教 職 員 数</th> <th colspan="7">児 童 ・ 生 徒 数 (下段：特別支援外数)</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">へき 地級</th> <th rowspan="2">普 通</th> <th rowspan="2">特 別 支 援</th> <th colspan="2">校長他</th> <th rowspan="2">加 配 教 諭</th> <th rowspan="2">養 護 教 諭</th> <th rowspan="2">栄 養 教 諭</th> <th rowspan="2">事 務 職 員</th> <th rowspan="2">計</th> <th rowspan="2">1 年 年</th> <th rowspan="2">2 年 年</th> <th rowspan="2">3 年 年</th> <th rowspan="2">4 年 年</th> <th rowspan="2">5 年 年</th> <th rowspan="2">6 年 年</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>普 通</th> <th>特 別 支 援</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幌延小学校</td> <td>2級</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>18</td> <td>15 (1)</td> <td>16</td> <td>21</td> <td>18</td> <td>20 (2)</td> <td>16 (1)</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>問寒別小学校</td> <td>3級</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1 (1)</td> <td>0</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>幌延中学校</td> <td>2級</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>16</td> <td>15 (1)</td> <td>18 (1)</td> <td>16 (3)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>問寒別中学校</td> <td>3級</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>4</td> <td>0 (1)</td> <td>1 (1)</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>12</td> <td>8</td> <td>24</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>44</td> <td>33 (2)</td> <td>39 (2)</td> <td>38 (3)</td> <td>19 (0)</td> <td>21 (3)</td> <td>16 (1)</td> <td>177</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 年度別児童生徒予定者数 (単純算出)</p> <table border="1" data-bbox="1335 1145 2024 1497"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校名</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>幌延小学校</td> <td>110</td> <td>107</td> <td>103</td> <td>98</td> <td>93</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>問寒別小学校</td> <td>10</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>18</td> <td>21</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>幌延中学校</td> <td>54</td> <td>52</td> <td>55</td> <td>57</td> <td>61</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>問寒別中学校</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>177</td> <td>175</td> <td>175</td> <td>176</td> <td>178</td> <td>165</td> </tr> </tbody> </table>	学 校 名	学 級 数			教 職 員 数						児 童 ・ 生 徒 数 (下段：特別支援外数)							へき 地級	普 通	特 別 支 援	校長他		加 配 教 諭	養 護 教 諭	栄 養 教 諭	事 務 職 員	計	1 年 年	2 年 年	3 年 年	4 年 年	5 年 年	6 年 年	計	普 通	特 別 支 援	幌延小学校	2級	6	3	9	4	2	1	1	1	18	15 (1)	16	21	18	20 (2)	16 (1)	110	問寒別小学校	3級	2	1	3	1	1	1	-	-	6	3	4	0	1	1 (1)	0	10	幌延中学校	2級	3	3	9	4	1	1	-	1	16	15 (1)	18 (1)	16 (3)				54	問寒別中学校	3級	1	1	3	1	-	-	-	-	4	0 (1)	1 (1)	1				3	計		12	8	24	10	4	3	1	2	44	33 (2)	39 (2)	38 (3)	19 (0)	21 (3)	16 (1)	177	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	学校名							幌延小学校	110	107	103	98	93	84	問寒別小学校	10	14	15	18	21	21	幌延中学校	54	52	55	57	61	55	問寒別中学校	3	2	2	3	3	5	計	177	175	175	176	178	165
学 校 名	学 級 数			教 職 員 数						児 童 ・ 生 徒 数 (下段：特別支援外数)																																																																																																																																																																							
	へき 地級	普 通		特 別 支 援	校長他		加 配 教 諭	養 護 教 諭	栄 養 教 諭	事 務 職 員	計	1 年 年	2 年 年	3 年 年	4 年 年	5 年 年	6 年 年	計																																																																																																																																																															
			普 通		特 別 支 援																																																																																																																																																																												
幌延小学校	2級	6	3	9	4	2	1	1	1	18	15 (1)	16	21	18	20 (2)	16 (1)	110																																																																																																																																																																
問寒別小学校	3級	2	1	3	1	1	1	-	-	6	3	4	0	1	1 (1)	0	10																																																																																																																																																																
幌延中学校	2級	3	3	9	4	1	1	-	1	16	15 (1)	18 (1)	16 (3)				54																																																																																																																																																																
問寒別中学校	3級	1	1	3	1	-	-	-	-	4	0 (1)	1 (1)	1				3																																																																																																																																																																
計		12	8	24	10	4	3	1	2	44	33 (2)	39 (2)	38 (3)	19 (0)	21 (3)	16 (1)	177																																																																																																																																																																
年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7																																																																																																																																																																											
学校名																																																																																																																																																																																	
幌延小学校	110	107	103	98	93	84																																																																																																																																																																											
問寒別小学校	10	14	15	18	21	21																																																																																																																																																																											
幌延中学校	54	52	55	57	61	55																																																																																																																																																																											
問寒別中学校	3	2	2	3	3	5																																																																																																																																																																											
計	177	175	175	176	178	165																																																																																																																																																																											

2 学校教育の充実

担 当 課		総 務 学 校 グ ル ー プ		事 業 内 容	点 検 ・ 評 価 と 課 題	方 向 性 (拡大・継続・改善・縮小・廃止)
区 分	執 行 方 針 要 点	個 別 事 業 名				
学校教育の充実	◇ 確かな学力の向上	○ 個に応じた指導方法工夫改善	<input type="checkbox"/> 授業改善加配による取組推進(幌小1名加配) <input type="checkbox"/> 基礎・基本の定着の充実 <input type="checkbox"/> 情報機器の活用 <input type="checkbox"/> 学習習慣の確立	☆ 複数教員(T.T)による少人数指導や個別指導の充実に努めた ☆ 基礎・基本の定着学習や放課後学習の実施、複式教育の授業技術の向上に努めた ☆ 情報機器の教室への常設や活用を推進した ☆ 朝の活動タイム(漢字・計算・音読等)の充実を図った ☆ 家庭での学習習慣の確立に努めた ☆ 生活リズムチェックシートの定期活用を図った	継続 ・加配要望	
			○ 学習成果の活用	<input type="checkbox"/> 全国学力・学習状況調査の結果分析 <input type="checkbox"/> 宗谷管内子どもの学力向上「Sサポート」の活用 ・ほっかいどうチャレンジテストの実施 ・Sサポート問題の実施 ・Sトライ問題の実施 <input type="checkbox"/> NRT、GRT検査の実施、結果分析 <input type="checkbox"/> 各学校における学力向上プランの作成	☆ 各調査問題等を実施し、その結果の分析を行い、短期的な検証改善サイクルを確立するとともに、各学校において学力向上プランを作成し、全ての児童生徒の学力の確実な定着と学習意欲の向上を図るための取組を推進した	継続 ・継続要望
	◇ 豊かな心の育成	○ 道徳教育の充実	<input type="checkbox"/> 基本的な倫理観や規範意識の醸成 <input type="checkbox"/> 体験活動の推進 <input type="checkbox"/> 自らの生き方を主体的に考える力の育成 <input type="checkbox"/> 「子どもの心に響く道徳教育推進事業」の実施	☆ 参観日や研修会で授業を公開し、道徳教育の充実に努めた ☆ 副読本等の効果的活用を図った ☆ 外部講師を招聘し、生命の尊さについて理解し、かけがえのない生命を尊重する態度を養った	継続	
			○ 読書活動の推進	<input type="checkbox"/> 児童生徒用図書購入(R2) 幌小 195冊 問小 80冊 幌中 154冊 問中 48冊 <input type="checkbox"/> 蔵書数(3月末現在) 幌小 7,392冊 問小 3,616冊 幌中 5,781冊 問中 4,726冊 <input type="checkbox"/> 地域連携研修(学校図書館)	☆ 図書室の整備をとおり、豊かな感性や情操教育を育むための読書指導に取組むことができた ☆ 始業前の一斉読書活動、休み時間、自由時間の利用、低学年からの図書室利用、環境作りの推進を図った ☆ 学校図書館の環境整備の在り方と利活用について、視察等を行い、教員の研修を図った	継続 ・読書習慣の育成と環境づくり
			○ 少年少女文化祭	<input type="checkbox"/> 少年少女文化祭の実施 ・幌延地区 10/29～11/5 ・問寒別地区 11/8～11/13	☆ 作文、絵画、工作作品等の日頃の成果を発表しあい、作品交流を行った	継続
○ 奉仕・体験活動の推進 ○ 地域との連携 ○ 総合学習の推進	<input type="checkbox"/> クリーン作戦への参加(幌中) <input type="checkbox"/> 人権の花運動への参加(各小中学校)	☆ 社会性や規範意識、思いやりの心など豊かな人間性を育むことができた ☆ コロナ禍により、その他の地域との連携事業は中止	継続			

担 当 課		総 務 学 校 グ ル ー プ		事 業 内 容	点 検 ・ 評 価 と 課 題	方 向 性 (拡大・継続・改善・縮小・廃止)
区 分	執 行 方 針 要 点	個 別 事 業 名				
学校教育の充実	◇ 健やかな体の育成	○ 学習成果の活用	<input type="checkbox"/> 全国体力・運動能力等調査の結果分析 <input type="checkbox"/> 各学校における体力向上プランの作成 <input type="checkbox"/> 各学級で新体カテストの実施、結果分析 <input type="checkbox"/> 体育エキスパート教員巡回指導事業の実施	☆ 調査結果の分析を行い、目標、改善方法、実施計画、評価方法を示し、日常の授業等における改善及び工夫を図った ☆ 加配教員による体育授業改善のための支援や指導助言を通して、小学校教員の指導力向上及び児童の体力向上に向けた取組の充実を図った	継続 ・ 継続要望	
		○ 学校給食の円滑実施	<input type="checkbox"/> 運営委員会による給食センターの計画、運営の審議等 <input type="checkbox"/> 学校給食会による予算計画、決算等の審議 <input type="checkbox"/> 学校による保護者等ふれあい給食会の実施 幌小3回 (①1年/②3年/③6年) 問小中2回 (①地域/②新1年) <input type="checkbox"/> 学校給食アレルギー対応連絡協議会の開催	☆ 安全で充実した学校給食の提供を図った ☆ 参観日や1日入学等で、地域の方や保護者対象にふれあい給食会等を実施し、学校給食への理解促進を図った ☆アレルギー-対象児童生徒への対応と栄養管理に努めた	継続 ・ 安心安全な給食の実施	
		○ 食育の推進	<input type="checkbox"/> 学校栄養教諭の配置 <input type="checkbox"/> 食に関する正しい知識と望ましい食習慣の普及 (平成17年4月～栄養教諭制度の創設、施行) <input type="checkbox"/> 地場産食材を取り入れた給食の提供 <input type="checkbox"/> 児童生徒の牛乳代相当額の助成	☆ 栄養教諭配置で、食育指導体制が図れた (食への感謝、食事のマナー、食習慣の見直し) ☆ 元気な体づくりと食習慣の大切さを理解させることができた ☆ 地場産の食材を理解させることができた ☆ 保護者世帯の負担軽減を図ることができた	継続 ・ 嫌いなものへのチャレンジ、マナーの指導	
		○ 給食施設・設備の整備	<input type="checkbox"/> 衛生管理の徹底を図る ・ 冷凍機交換修繕 374千円	☆ 保健所による、学校給食一斉点検指導を受け衛生管理を行っている ☆ 適宜適切な施設の改修を行った	継続 ・ 適正な維持管理	
		○ 武道授業の必修化	<input type="checkbox"/> 中学校における武道授業 幌延中学校～柔道 問寒別中学校～剣道	☆ 外部指導者との連携により、安全に授業を実施することができた	継続	
		○ 少年少女陸上記録会	<input type="checkbox"/> (第50回少年少女陸上記録会)	☆ コロナ禍により中止	継続	
		○ 中体連部活動支援	<input type="checkbox"/> 中体連部活動支援 幌延中学校 (陸上・バドミントン・吹奏楽) 問寒別中学校 (バドミントン) <input type="checkbox"/> 少年団活動への支援 野球少年団、バレーボール少年団に所属する生徒の活動を支援する	☆ 用具や中体連経費の補助、スクールバスの運行等の支援を行い、指導教員や生徒が部活動に集中できる環境を整備した ☆ 生徒数の減少により集団活動が難しい中、生徒の願いに応じ、少年団活動や外部指導者との連携など、新たな形態を推進した	継続	

担 当 課		総 務 学 校 グ ル ー プ		事 業 内 容	点 検 ・ 評 価 と 課 題	方 向 性 (拡大・継続・改善・縮小・廃止)
区 分	執 行 方 針 要 点	個 別 事 業 名				
学校教育の充実	◇ 特色ある教育の推進	○ 特色ある教育活動の推進	<input type="checkbox"/> 小中併置による9年間の一貫指導 <input type="checkbox"/> イングリッシュルームの有効活用 <input type="checkbox"/> 小学校英語 d e トライの実施 <input type="checkbox"/> 情報機器を活用した環境づくりと学習活動 <input type="checkbox"/> 総合学習・職場体験等の実施 <input type="checkbox"/> 漢検及び英検の検定料の補助（3級まで） 【漢検】 幌小40名／幌中19名／問小中6名 【英検】 幌小1名／幌中19名／問小中1名	☆ 小・中教員の授業交流や乗り入れ授業を実施することができた ☆ 英語学習の実践の機会として、管内ALTを招聘し、交流活動を通して、英語への興味関心を高めた ☆ 情報機器の効果的活用により、基本的な情報活用能力の育成に繋がった ☆ 職場体験学習を実施した（幌中：稚内市10事業所、町内7事業所／問中：町内2事業所） ☆ キャンパス訪問を行った（問中：稚内市内1校） ☆ 受検を目指すことにより、児童生徒の学習意欲の向上と基礎学力の定着に繋がった	継続 ・地域交流と教育実践の推進	
		○ 地域と教育活動	<input type="checkbox"/> 総合的学習を中心に自然環境、社会環境、人材活用を充実させる事業の推進 ・ 学校園活用 ・ 農業体験学習 ・ 森林教室 ・ 川の観察会 ・ 理科（水質）教室	☆ 自然や農業に係わり、触れ合う体験の機会、食料生産の理解を深める学習を実施することができた ☆ 草花・樹木・川の観察調べでは、自然の大切さ、環境保全への意識化を図ることができた ☆ 外部講師の活用を図った	継続 ・外部講師等の協力体制の確立	
		○ 情報教育の推進	<input type="checkbox"/> 情報教育センターの運営、研究推進 <input type="checkbox"/> T V会議システムを活用した遠隔授業の実施 <input type="checkbox"/> タブレットを活用した共同学習 <input type="checkbox"/> GIGAスクール構想に基づくICT環境の整備 <input type="checkbox"/> コロナ禍における臨時休業時の家庭学習支援（リモート学習）等の検証 <input type="checkbox"/> 新時代の学びにおける先端技術導入実証研究事業（SINET）の実施 <input type="checkbox"/> プログラミング教育の実践 <幌小>道教委指定事業（3年目）の実施	☆ 情報機器を活用した授業の計画的、効果的取組と機器操作できる教師の育成を図った ☆ 児童生徒の情報活用能力の育成を図った ☆ 一人一台端末及び学校ネットワークの環境整備を図った ☆ 臨休時に、朝の会・帰りの会をZoomで実施、授業動画をGoogleドライブで視聴、iPadの録画動画を家庭学習で活用／理・社・英の撮影動画や課題・時間割等を保存したタブレットを全生徒に配布し活用等、様々な検証を行った ☆ 国の学術情報通信ネットワーク等を活用し、道立高校・道教委・ウポボイと遠隔授業及び遠隔研修を行い、情報教育の推進を図った ☆ 「スクラッチ」や「Pepper」などを活用したプログラミング授業を各校で実践することができた	継続 ・情報教育環境の整備	
		○ 国際理解教育の推進	<input type="checkbox"/> 小中学校の英語科（5～中3）、小学校の外国語（3・4年）及び生活科（1・2年）の授業でのALT、外部講師、学習支援員の活用 <input type="checkbox"/> 生きた語学を学ぶ機会の提供 ・ 委託ALT（カズ氏） 192回 ・ 外部講師（キャシィ氏） 22回 ・ 学習支援員（宮古氏） 310回（授業時数）	☆ 小学校の新学習指導要領に対応した外国語活動や英語科の指導内容の質の確保、及び更なるグローバル化に対応した教育環境を整備するため、委託ALT及び外部講師に加えて、英語に特化した「学習支援員」を1名配置し、外国語教育の充実と国際理解教育の推進を図った	継続 ・学習支援員、ALT、外部講師の効果的活用	

担 当 課		総 務 学 校 グ ル ー プ		事 業 内 容	点 検 ・ 評 価 と 課 題	方 向 性 (拡大・継続・改善・縮小・廃止)
区 分	執 行 方 針 要 点	個 別 事 業 名				
学校教育の充実	◇ 地域と支え合う学校づくり	○ 学校運営協議会（コミュニティスクール）の設置		<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組み ・学校運営への参画 ・学校評価に関すること 他 <input type="checkbox"/> 委嘱人員:30名(幌小中19名、問小中11名)	☆学校と地域が目標を共有し、地域の子どもを地域で育てる仕組みを整えた ☆幌延地区（幌延小・幌延中）の運営協議会を9/25に設置し、町内全ての学校が設置済みとなった ☆幌延地区2回、問寒別地区3回の会議を開催し、委員からは、学校運営基本方針の承認をはじめ、学校評価に関する様々な意見や質疑がなされ、実態に応じた学校運営が図られた	継続 ・社会に開かれた教育課程の実現を目指す
		○ 情報公開の推進		<input type="checkbox"/> 地域参観日の設定や地域交流の実施 <input type="checkbox"/> 告知端末を活用し、学校行事を周知 <input type="checkbox"/> 学校だよりや学年・学級通信を定期的に発行 <input type="checkbox"/> 各学校のホームページの適宜更新 <input type="checkbox"/> 学校緊急連絡網の整備	☆地域参観日等を通して、保護者や地域に開かれた学校づくりを推進し、教育活動の理解が図られた ☆学校ホームページにより日々の教育活動の情報発信を行うなどの取組の充実を図った ☆臨時休校等の緊急時に迅速に情報を伝達するため、メール等に対応した連絡網の整備を図った	継続 ・開かれた学校の推進
	◇ 教職員の資質、指導力の向上	○ 教職員研修の実施		<input type="checkbox"/> 幌延町教育研究所 <input type="checkbox"/> 幌延町内3校校内研修	☆共同研究組織としての教育理論や実践研究の推進を図ることができた ☆コロナ禍において、WEB会議サービスを活用した研修を通して教職員の資質や指導力の向上を図った	継続 ・事業の継続要望
		○ 学校における働き方改革の推進		<input type="checkbox"/> アクションプランに基づく取組の推進	☆学校課題に応じた支援員等の配置により、教員の負担を軽減し、業務に専念できる環境を整備した ☆校務支援システムの導入により、事務の効率化及び教員の適正な出退勤管理を推進した	継続
		○ 学校訪問の実施		<input type="checkbox"/> 義務教育指導監（学校経営指導）及び指導主事（学校教育指導）の訪問要請を行い、学校経営、教育課程、校内研究等への指導・助言の実施 ・経営指導訪問/教育指導訪問 各校2回実施	☆教育課題・学習指導等について研究協議をし、教職員の指導力の向上が図られた	継続 ・授業力の向上
○ 教職員評価の取組		市町村立学校職員の評価に関する要領一北海道教育委員会教育長決定		<input type="checkbox"/> 平成20年4月1日施行 学校教育目標や経営方針・重点を踏まえ年間の自己目標等を設定 <input type="checkbox"/> 当初面談、中間面談、最終面談の実施を通して課題解決に向かう取組の推進	☆自己評価、指導助言者からの助言を受け、1年間の成果や課題を明らかにし、次年度の目標や取組に繋げることができた	継続

担 当 課		総 務 学 校 グ ル ー プ		事 業 内 容	点 検 ・ 評 価 と 課 題	方 向 性 (拡大・継続・改善・縮小・廃止)
区 分	執 行 方 針 要 点	個 別 事 業 名				
学校教育の充実	◇ 心の教育相談体制の推進	○ 子どもの心サポート相談員配置 ○ アンケート調査の実施	□ 児童生徒の悩み、ストレス等を和らげることができる第三者の配置 ・ 1日3.5時間、週3日、年40週 □ 「楽しい学校生活を送るためのアンケート」や「いじめアンケート」の実施		☆ 親や担任以外の人との係わりで悩み、不安を解消して行く環境づくりを進める ☆ 一人一人の児童生徒の状況を把握し、より良い学校生活を送れるように実施した	継続 ・ 相談員の確保
			◇ 特別支援教育体制の充実	○ 特別支援教育支援員配置 ○ 特別支援教育連携協議会の活動	□ 幌延小学校 2名配置 ・ 1日4時間、週5日、年40週 ・ 平成18年度から幌小に配置 □ 特別支援教育連携協議会の設置・運営 ・ 教育相談 1回 ・ 協議会 1回(書面会議)／専門部会議 5回 ・ 特別支援学級 小中8学級 (幌小3、問小1、幌中3、問中1) ・ 子育てファイルの活用	
	◇ 安全・安心な教育環境の推進と就学支援	○ 安全・安心で健やかな学校及び地域			□ 青少年健全育成連絡協議会 年2回開催 □ 通学路安全推進会議 年2回開催 ・ 通学路交通安全プログラムの策定等	
			○ 学校施設の整備	□ 問小中体育館天井改修工事 8,701千円 □ 問小中キュービクル改修工事 8,690千円 □ 問小中前庭遊具改修工事 6,732千円 □ 幌中体育館照明器具改修工事 11,946千円 □ 幌中音楽室カーテン交換修繕 638千円 □ 幌小グラウンドトイレ修繕 568千円 〔コロナ感染対策〕 □ 幌中体育館換気設備改修工事 9,130千円 □ 各校網戸取付 ほか 2,992千円		☆ 各学校について、計画的な改修を進めて行く ☆ 安心安全で環境にやさしい学校づくりを推進した ☆ 国のコロナ感染症予防対策交付金事業の活用により、学校での感染対策の徹底を図った
		○ 教職員住宅の整備		□ 教員住宅修繕 1,903千円 ・ 幌延地区教員住宅内外修繕 他 ・ 問寒別地区教員住宅内外修繕 他		☆ 教職員の安心・安全な生活環境を整えた
			○ スクールバスの運行	□ スクールバス運行事業 ・ 幌延地区3路線 ・ 問寒別地区 2路線		☆ 安心で安全な運行のため運行会議を行った ☆ スクールバスを計画的に更新する必要がある

3 幌延町社会教育施設の利用状況

区 分	特色ある教育活動・経営の重点	□社会教育の推進 学ぶ意欲、学ぶ心を育てるため、社会教育施設等を通し町民のニーズに対応した学習情報や学びの機会を提供し、ふるさと学習・芸術・文化スポーツ活動を進める。							
社会教育 ー第7次中期計画(R2~7)スローガンー 共に学び・共に育み・共に創る 郷土に根ざすひとづくり	I 幌延を知るための学びの場づくり ○多様な学習機会の拡充に努める ○多様な学習機会を提供する II 地域の営みに参画できる仕組みづくり ○文化・スポーツ活動を充実する ○家庭・地域の子育てを支援する ○住民の社会参画活動を促進する III 子どもたちの自立を促す環境づくり ○体験・交流活動を推進する ○学校との連携を促進する ○ボランティア活動を推進する ○リーダー・指導者の研修機会を提供する IV 次代に向けて挑戦し続ける風土づくり ○協働による生涯学習を推進する ○青少年活動を推進する ○コミュニティ活動を活性化する ○スポーツと健康づくりを推進する V 学習活動の拠点づくり ○社会教育、社会体育施設を整備する ○社会教育、社会体育施設の利用を促進する	幌延町社会教育施設の利用状況 (令和2年度実績)							
		施設区分	件数	利用人数	令和元年度実績		増 減		
			445 件	5,818 人	598 件	8,951 人	▲ 153 件	▲ 3,133 人	
			225 件	3,996 人	264 件	5,460 人	▲ 39 件	▲ 1,464 人	
			318 日	13,141 人	310 日	14,357 人	8 日	▲ 1,216 人	
		学 事 校 開 放 業	幌延小学校	77 件	751 人	108 件	1,718 人	▲ 31 件	▲ 967 人
			幌延中学校	94 件	2,439 人	88 件	1,745 人	6 件	694 人
			問寒別小中学校	32 件	376 人	36 件	417 人	▲ 4 件	▲ 41 人
			270 日	634 人	271 日	735 人	▲ 1 日	▲ 101 人	
			221 日	116 人	223 日	200 人	▲ 2 日	▲ 84 人	
			341 日	3,090 人	319 日	4,947 人	22 日	▲ 1,857 人	
			336 日	80 人	322 日	102 人	14 日	▲ 22 人	
			95 日	1,597 人	100 日	2,330 人	▲ 5 日	▲ 733 人	
			53 日	441 人	50 日	372 人	3 日	69 人	
			40 日	12,359 人	16 日	2,988 人	24 日	9,371 人	
			3 日	83 人	0 日	0 人	3 日	83 人	
			4 件	72 人	24 件	406 人	▲ 20 件	▲ 334 人	
			343 枚		532 枚		▲ 189 枚		
			48 枚		48 枚		0 枚		
			27 件	625 人	62 件	1,406 人	▲ 35 件	▲ 781 人	
	119 件	1,167 人	117 件	1,142 人	2 件	25 人			
	13 件	153 人	11 件	106 人	2 件	47 人			

4 社会教育 とも まな 共に学び、とも はぐく 共に育み、とも つく 共に創る きょうど ね 郷土に根ざすひとづくり

担 当 課		社 会 教 育 グ ル ー プ		事 業 内 容	点 検 ・ 評 価 と 課 題	方 向 性 (拡大・継続・改善・縮小・廃止)
区 分	執 行 方 針 要 点	個 別 事 業 名				
社会教育 共に学び・共に育み・共に創る 郷土に根ざすひとづくり	◇ 幌延を知るための学びの場づくり	○ 学習意欲を高める情報提供	<input type="checkbox"/> 町ホームページへの情報更新 <input type="checkbox"/> 社会教育だよりの発行 年12回発行 <input type="checkbox"/> 体育館だよりの発行 年12回発行 <input type="checkbox"/> 告知端末機を活用した事業開催案内	☆ ホームページは遅滞なく適宜更新することができた ☆ 各事業の活動の様子や結果報告、開催案内、募集案内などを解りやすく町民に周知するよう努めた ☆ 効果的な活用が図れるように努めた	継続 * 告知端末機の効果的活用	
		○ 学習相談体制づくり	<input type="checkbox"/> 生涯学習アドバイザーの委嘱(H18.4.1~) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援・相談・情報提供に関する環境づくり	☆ 幌延町の特性を生かし、主催事業の講師や町民の生涯学習活動を支援した ☆ サロベツ原野でたくましく生きる動植物の生態・繁殖・四季の移り変わりを大型モニターやパネル等で公開した	継続 * 地域人材と学習アドバイザー	
		○ 学習機会の提供	<input type="checkbox"/> ふるさと自然体験チャレンジ事業の実施 年7回開催 ナイトハイク・カヌー体験・酪農体験・渡り鳥観察会・染物体験・リース作成・スノートレッキング <input type="checkbox"/> 朝活事業の実施(夏休み期間 8/1~7) <input type="checkbox"/> 生きた語学を学ぶ機会の提供 ALT(カズ氏)及び宮古支援員の活用 英語学習会3回、英会話教室9回 <input type="checkbox"/> ワラベンチャー問寒クラブ事業	☆ コロナ禍の中、開催時期等を見極めながら実施 ☆ 自分の住む地域を再発見し、大切にすることを育てることができた ☆ 郷土を愛し、誇りに思う心を育むことができた ☆ 夏季休業中における望ましい生活習慣の定着を図ることができた ☆ 児童向けの英語学習会や一般向けの英会話教室を開催し、ネイティブスピーカーを通して英語に慣れ親しむ機会を提供することができた ☆ ふるさとの自然や歴史・文化に親しむことができた	継続 * ふるさと・地域・人を愛す心の育成	
		○ 利用しやすい施設運営の推進	<input type="checkbox"/> 書道文化の振興と心象館の活用 町内書初め展の実施(展示会&表彰式) <展示会>1/22~31(出展数:163点)	☆ 書道に関する関心や理解を深め、地域の芸術文化の向上を図るための新たな取組が必要 ☆ 心象館の施設運営とともに、書カフェやギャラリー一展を開催し、入館者の増員に努めたが、コロナ禍により減員となった	改善 * 町の財産と書道文化の推進	
			<input type="checkbox"/> 生きがい教室の開催 年5回開催 幌延映像上映会・フアカーリンク&パークゴルフ・映画鑑賞・学習会&ゲーム・ヨガ教室	☆ コロナ禍の中、開催時期等を見極めながら、学習や語らいの場を提供するとともに、生きがいを持ち、楽しみながら生活してもらえるように努めた	継続	
			<input type="checkbox"/> 教育・文化・スポーツ施設の適正な管理運営の推進	☆ コロナ禍の中、社会教育施設の適正な管理運営に努めた(利用状況参照)	継続 *	

担 当 課		社 会 教 育 グ ル ー プ		事 業 内 容	点 検 ・ 評 価 と 課 題	方 向 性 (拡大・継続・改善・縮小・廃止)
区 分	執 行 方 針 要 点	個 別 事 業 名				
社会教育 共に学び・共に育み・共に創る 郷土に根ざすひとづくり	◇ 地域の営みに参画できる仕組みづくり	○ 芸術・文化鑑賞会の提供		□ 生涯学習講座兼生きがい教室 映画鑑賞「ある町の高い煙突」	☆ 日頃、芸術鑑賞機会が少ない地域性の中、舞台芸術に接し、感動や生きる力、地域の文化振興を図ることを目的に各事業を計画していたが、コロナ禍によりほとんどの事業を中止せざるを得なかった。	継続 * 芸術文化鑑賞機会の推進
		○ 地域教育力の向上		□ 子育て支援、ボランティア人材登録と活用(幌延・問寒別) 家庭教育サポート企業の登録、(有)伊藤商店、(株)道北物流、(有)問寒別軽送、天塩ハイヤ(株)、幌延郵便局、問寒別郵便局 □ 家庭教育の推進 家庭教育学級の開設 幌小3回／幌中0回／問小中1回	☆ 幌延、問寒別の地域子ども教室では、地域のボランティアスタッフによる身近な遊び交流等を通して、放課後の安全・安心事業を進めた ☆ 家庭教育サポート企業(現在町内6社が道教委と締結)の啓蒙と企業の理解を深めていく ☆ 各校合わせて12回予定のところ8回分がコロナ禍の中、中止せざるを得なかったが、実施できた4回分の活動について支援した	継続 * 人材の活用と確保 * 地域の子育て支援 * 家庭教育の推進
		○ 住民の社会参画活動を促進		□ 住民参画活動 町民スキー大会	☆ コロナ禍の中、開催時期等を見極めながら実施体協加入団体以外のサークルが、社会体育事業に参画し競技・運営に協力した	継続
	◇ 子どもたちの自立を促す環境づくり	○ 子どもの健全育成の推進		□ 放課後子ども教室推進事業 地域の大人の協力で、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動・交流活動等の取り組みを推進する。 幌延小 25人、指導員 2人 開催28日(ボランティア 1名) 問寒別小 10人、指導員 5人 開催24日(ボランティア 4名) □ ワラベンチャー問寒クラブ事業 親子釣り大会、スノーモービルランド ● 体験・交流活動の推進 ● ボランティア活動の推進 ● 会員53名	☆ 小学生を対象に異年齢の児童35名の登録、12名のスタッフで、放課後の安心安全事業を進めた ☆ 地域のボランティアと児童の交流が図られ、安心・安全な地域づくりに役立った ☆ 子どもたちにケガや事故のないよう自主活動を見守る安全指導員の確保に努めた ☆ 問寒別地域を中心にした自然体験活動を支援した 親子や地域交流・異年齢交流等を通して、子どもたちの心に「ふるさと」をしっかりと根付かせる取り組みに対し、支援を行った	継続 * 地域の子育て支援

担 当 課		社 会 教 育 グ ル ー プ		事 業 内 容	点 検 ・ 評 価 と 課 題	方 向 性 (拡大・継続・改善・縮小・廃止)
区 分	執 行 方 針 要 点	個 別 事 業 名				
社会教育 共に学び・共に育み・共に創る 郷土に根ざすひとづくり	◇ 次代に向けて挑戦し続ける風土づくり	○ コミュニティ活動の推進	<input type="checkbox"/> 町民交流施設の利用促進 (利用状況参照) <input type="checkbox"/> 幌延深地層研究センター・国際交流施設の有効活用 <input type="checkbox"/> 心象館ギャラリー展&書カフェ ● ギャラリー展 7回実施 ● 書カフェ利用者 延べ473名	☆ 誰もが気軽に集い、交流し地域づくりを行う拠点として、利用しやすい運営体制づくりを進めてきた ☆ コロナ感染対策の徹底 ☆ 参画と協働を支援する情報提供・読書資料等のより一層の充実を図っていく ☆ 心象館の空間を有効活用し、個人及び文化サークル等の活動を発表する機会を提供することができた	継続 * 利用しやすい環境づくり	
		○ スポーツ活動の振興	<input type="checkbox"/> 各種スポーツ団体との連携と育成 ● 子ども運動教室 9回実施 ● 各種大会 9大会実施	☆ スポーツ推進委員・スポーツ指導員・体育協会・各種スポーツ団体との連携を図り、スポーツ教室や各種大会等を企画し、コロナ禍の中、中止せざるを得ない大会等もあったが、延期や感染症対策を講じながら実施することができた	継続	
	◇ 学習活動の拠点づくり	○ 社会教育、社会体育施設を整備する	<input type="checkbox"/> 社会教育施設の整備・改修等 問学セ雨水ポンプ等修繕 465千円 総体ボイラー自動軟水器修繕 297千円	☆ 経年劣化による修繕	継続 * 安心安全な施設機能の維持	
		○ 社会教育、社会体育施設の利用を促進する	<input type="checkbox"/> 国際交流施設との有機的な運営による舞台鑑賞機会の充実(幌延) <input type="checkbox"/> 子育てや地域住民の自主的な活動の支援及び住民やボランティア等との連携を大切にする「協働の拠点づくり」(問寒別) <input type="checkbox"/> 図書室(コーナー)の利用促進(幌延・問寒別) ● 図書企画展5回 ● 移動図書室6回	☆ 生涯学習の拠点として、利用者のニーズを把握しながら、地域文化の振興を図るとともに、施設の利便性及び読書意欲の向上に努めた ☆ 認定こども園、へき地保育所で移動図書室を開催し、幼児や保護者が本に親しむ機会の提供に努めた	継続	

第3 点検評価に関する外部評価

1 外部評価者の意見

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定による教育に関し学識経験を有する者の知見の活用については、教育委員会が行った点検及び評価に対し、次のとおり意見や助言をいただきました。

このことにより、点検及び評価の客観性を確保するとともに、いただいた意見等について、今後の施策、事業等に反映させてまいります。

2 点検及び評価に関する意見

□高木 健太郎 氏（北海道大学天塩研究林長）

（1）教育委員会の活動

令和2年度は、5名の委員の方々が11回の教育委員会議、16件の学校行事・学校訪問、21件の関連会議に参加されています。加えて21件の関連委員会が開催されており、今年度も限られた人員で、多くの関連会議や委員会活動に積極的に取り組まれています。

今年度も年度当初より、全道教育長会議が開催されており、コロナ対策でご尽力されている様子が伺われます。これまで教育委員会が推進してきた児童生徒や教職員のICT活用能力の向上や機材整備のご努力は、コロナ禍におけるオンライン教育の導入に大変貢献していると思います。

学校事業や地域社会教育団体等への適切な補助事業を通じて、地域社会が一体となった教育支援やスポーツ育成事業に貢献していると思います。児童生徒学力向上支援事業補助やスポーツ大会参加補助事業については地域の状況やニーズに応じて柔軟に適用されていると思います。今後とも手厚い補助を希望します。

（2）主な事務事業などの点検、評価について

学校教育の充実に関する9項目、社会教育に関する5項目の主要な執行方針について、当初の予定通りの成果をあげていると思います。問寒別小中学校に引き続き、幌延小学校・中学校においても学校運営協議会が始まり、地域と協働した学校運営体制が整備されています。加えて、新学習指導要領が始まり、児童生徒の主体性や仲間との共同、たくましく生きる力に重点を置いた目標を設定しています。

「確かな学力の向上」では、幌延小学校でティームティーチングを推進しており、個々の児童生徒に応じたきめ細やかな指導を行っています。加配の増員を検討すべき事業であると考えます。また「宗谷の学力向上プラン」を活用し、学力調査→検証→改善のサイクル確立に向けた取り組みは意義のあることだと思います。

「豊かな心の育成」では、外部講師を招聘し、心に響く道徳プログラムの開発に尽力されています。奉仕・体験・交流活動が軒並み中止になってしまったことは残念ですが、現状では致し方ないことだと思います。

「健やかな体の育成」では、幌延・問寒別に加えて、豊富小も対象とした体育エキスパート教員の広域巡回指導を実施しており、教員の指導力向上や児童の体力向上に貢献しています。ぜひ継続していただきたい事業です。また少年団活動に対して、生徒数の減少に応じた柔軟な支援が試みられています。今後も手厚い支援を希望します。

「特色ある教育の推進」では、漢検と英検の検定料の補助事業を通じて、基礎学力の向上に貢献しています。総合的な学習では積極的に外部講師を活用し、地域の自然や農業に触れ合う体験の機会を提供し、人間性の育成に貢献していると思います。

国の学術情報通信ネットワークやテレビ会議システム、タブレットを活用し、児童生徒の情報活用能力の育成に努めています。全国規模の人口減少の中、ネットワークを活用したコミュニケーション能力は今後必要不可欠になるものと思います。ALTや外部講師に加え、英語に特化した学習支援員を配置したことにより、国際理解のための教育が大変充実していると思います。小中学校での授業に加え、こども園や保育所、社会教育関連の活動においても活躍しており、地域社会教育への貢献も大きいと思います。これらの取り組みは、ぜひ継続して行っていただきたいです。

「教職員の資質、指導力の向上」では、アクションプランに基づいて教員の働き方改革を推進しています。仕事の効率化と負担の平準化を推進していただければと思います。

「心の教育相談体制の推進」、および「特別支援教育体制の充実」では、特別支援教育支援員2名の配置に加え、年間420時間に及ぶ子どもの心サポート相談により、児童生徒の指導や心のケアがきめ細やかに行われています。これらの事業の継続を希望します。

「安全・安心な教育環境の推進と就学支援」ではコロナ感染症予防対策交付金事業を活用し、必要な感染対策工事を迅速に行っています。

今年度より幌延町第7次社会教育中期計画が始まり、「共に学び・共に育み・共に創る郷土に根ざすひとづくり」のスローガンのもと、様々な取り組みが行われています。社会教育施設の利用数はコロナ禍の影響を受け軒並み減少していますが、致し方ないことだと思います。継続した維持管理を希望します。コロナ禍においても感染対策を行いながら、ふるさと自然体験チャレンジ事業やワラベンチャー問寒クラブ事業を一部実施しており、関係者の方々の熱意とご英断を支持します。朝活事業も夏のみとなってしまいましたが、児童生徒の長期休業中の生活習慣の向上に貢献していると思います。芸術・文化鑑賞会や、英会話、生きがい教室等は残念ながら、一部事業を中止せざるを得なかった状況ですが、

コロナ禍が落ち着いた折には再開を希望します。地域のボランティアスタッフによって支えられている放課後子ども教室は、地域のボランティアと児童、父母の交流を通して、安心・安全な地域づくりへの貢献も大きいと思います。今後も支援を継続しスタッフの維持確保に努めていただきたいと思います。

(3) 総合的な点検・評価について

点検評価報告書は執行方針要点毎に事業の内容と点検・評価、および今後の課題がわかりやすく整理されています。今後とも適切な情報公開を期待いたします。教員の加配や支援員の配置、外部講師委託は継続・充実していただくことを希望いたします。

教育委員会は多岐にわたって魅力的なプログラムを企画・運営されています。コロナ禍における学校の対応に加え、地域交流プログラムの開催にはご苦労が多いことと思いますが、感染状況を踏まえて適切な対策を施すことによって、これまで定着してきた魅力的なプログラムを継続して推進していただくことを希望します。

□富士元 寿彦氏（前幌延町教育委員会委員）

(1) 教育委員会の活動状況について

令和2年度に行われた11回の教育委員会議は、必要に応じた内容の開催で、その都度適切な報告と議案の審議がなされています。

また、教育委員会委員の活動状況につきましても、学校行事や学校訪問が16件、町議会8回・10日の他、各種協議会・会議・研修会等への出席・参加が多数あり、積極的に活動していたことが認められます。

教育委員会関連委員の活動状況も、社会教育委員、文化財専門委員、スポーツ推進委員、幌延情報教育センター運営委員、教育支援委員、学校運営協議会委員、学校給食センター運営委員と学校給食アレルギー対応連絡協議会委員、放課後子ども教室運営委員、特別支援教育連携協議会委員、教育委員会外部評価委員が皆、必要に応じた会議が開催されており、事業等の適切な運営・推進が図られています。

教育委員会が交付した補助金につきましても、総務学校グループと社会教育グループともに、各種事業の円滑な実施と運営・推進には必要なもので、適切だったと思います。

(2) 主要施策・事業等について

「学校教育の充実」の「特色ある教育活動・経営」では、幌延小学校・幌延中学校・問寒別小中学校の各学校が、学校教育目標に向けた活動に取り組み、年度重点課題を実践・推進しています。また、執行方針に向けた個別事業の内容も、多岐にわたり取組まれており、それぞれに実践・推進されていました。高く評価したいと思います。

「確かな学力向上」の「個に応じた指導方法工夫改善」では、今年度も幌小1名加配で

推進された複数教員（T.T）による少人数指導や個別指導が行われており、成果が期待される大変良い取組だと思われます。また、情報機器の活用も推進されているのが良かったと思います。

「学習成果の活用」では、「Sサポート」の活用も良い取組だと思えます。

「豊かな心の育成」では、コロナ禍により奉仕・体験活動はほとんど中止でしたが、「道徳教育」と「読書」、「少年少女文化祭」は推進・実践されており、大変好ましく思えます。感受性の豊かな心を育むため、今後も継続して情操教育に取組まれることを期待します。

「健やかな体の育成」でも、加配教員による体育エキスパート教員巡回指導事業の実施で、小学校教員の指導力と児童の体力向上に向けた取組が図られており、今後が期待されます。

「学校給食の円滑実施と食育の推進、施設・設備の整備」等による衛生管理の徹底で、安心安全な学校給食を提供する事業が実施されています。栄養教諭配置による食の知識と食育指導が図られ、元気な体づくりと食習慣の大切さを理解させられたことも良かったです。また、食育の推進では、地場産食材を取り入れた給食と、町から牛乳代金相当額助成金継続での牛乳提供は歓迎すべきことだと思います。

「中体連部活動の支援」は、体力の向上と健全な体の育成につながる良い内容の事業だと思います。特に、中体連参加のため野球とバレーボールの部活動が出来るよう、生徒の願いにより構築された隣町との合同チームは、新たな形態として画期的なもので、これからの活動が期待されます。

「特色ある教育の推進」では、小中併置による9年間の一貫指導で、小・中教員による授業交流や乗り入れ授業が実施されており、今後が期待される事業だと思います。漢検と英検の検定料補助も、児童生徒の学習意欲の向上と基礎学力の定着に繋がっているようです。幌小から英検受験者も出ており、良い試みだと思います。

「情報機器を活用した環境づくりと学習活動」は、情報社会に役立つ実践的な内容で、他にも総合学習・職場体験も行われており、良い取組だと思います。

「地域との教育活動」では、地域の自然環境と社会環境の学習、「情報教育の推進」では、情報機器を活用して情報社会に生きるための基本的活用能力の育成が図られており、これからの時代に配慮された内容になっています。タブレットを利用した学習は、一人一台のタブレットが配置されており、国のGIGAスクール構想に沿った環境整備が図られている現状を高く評価したく思えます。

また、「国際理解教育の推進」では、小中学校の英語科・小学校の外国語・生活科の授業と、生きた語学を学ぶ機会の提供で、学習支援員がALTと外部講師・児童生徒等との間に入ることでスムーズに学習が進み、大変効果的だと聞いています。今後も一層の活動が期待できる事業だと思います。

他の事業でも、情報公開の推進、教職員研修・学校訪問の実施、子どもの心サポート相談員・特別支援教育支援員の配置を始め、関係機関や地域との連携等により、子どもたち

が安心して学校に通える環境の教育体制作りにも尽力されている様子が伺えます。

社会教育では、令和2年度も芸術・文化、スポーツ等々多様な内容で、幅広い年齢層を対象にした各種施策・事業が企画・推進・実践されています。高く評価したいと思います。

「幌延を知るための学びの場づくり・学習機会の提供」では、毎月社会教育だよりと体育館だよりが発行され、告知端末機でも事業開催の案内や情報提供が行われており、良い広報活動が展開されています。

「ふるさと自然体験チャレンジ事業」と「ワラベンチャー問寒クラブ事業」は、ふるさとの自然や歴史・文化に親しみながら体験できる場を提供しています。近年、野外で遊ぶことが少なくなっている子どもたちにとり、自然と触れ合える数少ない行事は、とても良い情操教育の場になっていると同時に「故郷の思い出作り」にもなっていると思います。可能であれば、四季折々に恵まれた幌延の自然に親しめる機会の更なる提供を望みます。

学習機会の提供は、他にも「生きた語学を学ぶ英語学習会」や「生きがい教室の開催」など多くの場が提供されていますが皆、役に立つ良い企画の事業だと思います。

「利用しやすい施設運営の推進」では、コロナ禍の中、社会教育施設の適正な管理運営の推進に努めていたことが、利用状況表から伺えます。

「地域の営みに参画できる仕組みづくり」では、「地域教育力の向上」「住民参画活動」等が実施されていますが、これも文化振興、子育て支援、体育事業等の振興に貢献するとともに良い内容の事業だと思います。

「コミュニティ活動の推進」は、教育委員会の評価と課題・方向性にあるように継続して「生涯学習の拠点として、地域文化の振興を図る」ために利用しやすい環境づくりを推進することが、理想的だと思われます。また、図書室（コーナー）の利用促進のために行われた「図書企画展と移動図書室」は、本に親しむ機会の提供と、蔵書を活用する良い試みだと思います。

(3) 総合的な点検・評価について

教育委員会による点検・評価報告書は、「事業の執行方針・内容」と、「点検・評価と課題」についての内容が、それぞれ簡潔にまとまっていて分かりやすい点が多く、方向性もほとんどが継続なので、各種事業が目標に向けて尚一層推進されることを望み期待します。

また、コロナ禍により教育委員会も、関連の施設利用の制限や行事の中止等々の対応に追われ大変な状況でしたが、先行きが見えない中での対応に当たられた皆様に労いを表します。